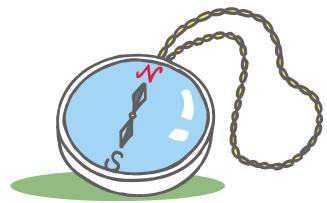


羅針盤



第 7 号

令和2年(2020年)6月15日(月)

◆『あ・ひ・る』が実行できる人に！

3カ月にも及んだ、長く続いた臨時休業期間が終わり、ようやく本日令和2年度（2020年度）の始業式を迎えることができました。3年生だけでなく、1・2年生も、学級を2分割しての授業が始まっていますが、全校生徒の皆さんが高い登校ができるようになった今日この日が、新年度のスタートを切る日となりました。校長室だよりでは、「朝の来ない夜はない」というメッセージを送っていましたが、耐え凌いだ月日は決して無駄なものとはならないはずです。「生徒の皆さんの中もが、安全で安心して学校生活を過ごすことができる」という、これまで当たり前のように過ごしてきた日々が、どれほど意味のある、そして、何物にも代え難いことであったかということを身に染みて感じる日々ではなかったでしょうか。学校生活が本日より始まりましたが、集団生活を通して、常に相手の立場に立って物事を考えることや、友だちが抱えもっている課題を自分自身の課題として捉えることの大切さを、しっかりと考えて行動してもらいたいと思います。そして、何よりも一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、次の3つの事がらを心掛けほしいと考えています。

1、『あ』・・・挨拶ができる人になる

「親しき仲にも礼儀あり」という言葉にもあるように、日頃から身近にいる人との人間関係を構築していくための最低限のマナーとして、そして、何よりも人と接するうえでの最初のコミュニケーションとして大切なことが「挨拶」です。礼儀正しく相手と接すること、それは相手を一人の人間として大切に思いやるという「人間尊重の精神」の表れです。礼儀の第一歩となる「挨拶」ができる人になってもらいたいと思います。大きな声で、爽やかに、気持ちよく挨拶することを心掛けましょう。

2、『ひ』・・・人の話を素直に聞くことができる人になる

パスカルの「人間は考える葦である」という言葉を知っていますか？先生方からだけでなく、多くの人が君たち一人ひとりに良きアドバイスを投げかける場面が、たくさんあります。そんな時に、ただ単に話を聞くだけで終わってしまっていることはありませんか？話を聞くだけで終わるのではなく、話の内容を理解して、自分で考え、行動に移すことができて、初めて「聞く」が「聴く」になります。耳を傾けるだけでなく、理解することに重点を置いた、素直な心を持つ「聴く」ことができる人になりましょう。

3、『る』・・・ルールを守ることができる人になる

私たちがお互いに気持ち良く生活していくために、ルール（決まり）があります。社会生活では当然のことですが、学校でも集団生活を行ううえでのルールがあります。お互いにルールを守ることで、秩序が保たれ、相手の気持ちを思いやり、相手の人権を尊重することに繋がります。時間を守ることも、その一つです。ルールを守り、住吉中学校の生徒としての自覚を持ち、責任ある行動を心掛けましょう。

保護者の皆さん、今年度のスタートが大きく2ヶ月も遅れることとなりましたが、本日より、通常の学校生活がスタートすることとなりました。この間、不安な思いで「自粛生活」を過ごされていたと思います。子どもたちにとってより良い教育活動を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。（校長 坂井伸治）

